

令和元年度 学校関係者評価報告書

令和元年度 学校関係者評価委員会

開催日時：令和2年3月10日(火) 13:00～16:00

会場：山形美容専門学校 1階 図書室

出席者：〔外部委員〕鈴木 啓司(元山形県私立学校総連合会 事務局長)

木村 奈巳子(美容室経営者)

〔委員〕 志田俊雄(理事長)、高橋朝子(校長)、齋藤明子(教頭)、

小山利夫(事務局長)、小鹿美香子(事務主任)、小林さとみ(教務主任)

計8名

実施方法：外部委員に自己評価報告書を通覧いただき、意見を聴取した

— 評価項目毎の学校関係者評価・意見 —

項目1 教育理念・目標・育成人材像

- ・ 昨年話しに出た学校の理念を学生に繰り返し伝えることを心掛けていると思う。
- ・ 美容業界の仕事の幅が広がっている現在、コース別のカリキュラムの導入は時代にあっていると思う。得意を伸ばすことにもつながって良い。
- ・ コース別のカリキュラムについて、希望が偏らない工夫や、偏った時の対策を考えておいた方がよいと思う。

項目2 学校運営

- ・ 運営組織に関わる役員の選出に当たって、学校への理解を深めるような事前講習を行ってはどうか。
- 事前講習はとても良い考えだと思うので、改選時には是非取り入れて行きたい。
- ・ 働き方改革制度に沿っているとはどういうことか自己評価報告書具体的に記した方がよい。
- 休日(有給)の取り方や、残業を減らす等の取り組みを具体的に記載する。

項目3 教育活動

- ・ 昨年の「自己評価の課題、改善策が漠然としているためもう少し、具体例をあげて作成してはどうか。」との指摘に対し、改善が見られた。

項目 4 学修成果

- ・ 卒業生の活躍・評価についてはよく把握出来ていて良いと思う。今後も離職調査等は引き続き行った方が良いとの事。
- ・ 昨年に比べ資格取得率の向上が図られたのは、学生の意欲が学年によって差があるためだが、これからも意欲の向上に働きかけるよう努力する。

項目 5 学生支援

- ・ 退学者を出さないための対策として保護者との連携は密に取れていると感じ素晴らしいと思う。
- ・ 今年度の退学理由の多くが、楽にお金が入るアルバイトへと気持ちが傾いてしまったのが原因だった。今後の指導方法も考えて行きたい。
- ・ 卒業生への支援に関しては、退社の相談や再就職の紹介だけでなく、国家試験の再挑戦のための指導や、奨学金返済のお知らせ等もこまめにしている。

項目 6 教育環境

- ・ 選択技術授業のための教室があれば、着付やネイルの授業の準備時間や後片付けの時間も技術を学ぶ時間に使えるので、今後検討していきたい。
- ・ 防災体制をマニュアル化し、色々なパターンの対策を講じておかなければならない。
- ・ 小中学校では火災訓練だけでなく、地震時や不審者侵入に対する訓練も行われている。

項目 7 学生の受入れ募集

- ・ 学生募集については適性に行われている。

項目 8 財務

- ・ 現状問題なしと考え、適性と認識する。

項目 9 法令等の遵守

- ・ 法令等の遵守は当然の義務であり、これからも徹底が必要。

項目 10 社会貢献・地域貢献

- ・ ボランティア活動等社会に貢献できることは大変よいことだと思うので、是非続けてほしい。

所見

今回第2回目の学校関係者評価委員会だったが、昨年の委員会で「自己評価報告書の記載を具体的な文言を入れて作成したほうが良い」という指摘があり、改善を試みた。まだ足りない部分もあるので今後も分かりやすく、制作するよう心掛ける。

評価が4でない項目について検討し改善に心掛け、中長期的に時間を有するもの意外は早急に改善を進めていくよう努力していく。

外部委員の意見を受け、改めて気付ける事項が多く参考になった。今後職員全体にも周知し、学校運営に役立てて行きたい。